

令和2年度 事業報告

公益財団法人日本呼吸器財団

(概要)

令和2年度は新型コロナウイルスに多大な影響を受けた一年となった。日本呼吸器学会各支部との共催による市民公開講座は殆どが開催中止となり、「呼吸不全に関する在宅ケア白書」作成の為に患者調査も未実施に終わった。その一方で6月に急遽募集を告知した「COVID研究助成」には20件を超える多数の応募があり適時な助成事業となった。令和2年度に実施した事業概要は下記の通りである。

「市民公開講座助成」は、オンライン開催の東北支部での市民講座と GOLD 日本委員会、日本呼吸器学会と主催した「日本 COPD サミットー新型コロナと COPD、タバコ WEB セミナー」の2件で60万円の実績に終わった。

「患者団体助成」は、ポリオの会、キャッスルマン病患者会、北海道低肺の会、再発性多発軟骨炎患者会の4団体に計40万円の助成をした。

4年目を迎えた「研究助成」では18件の応募の中から5件の研究テーマに、また「COVID研究助成」では21件の応募の中から4件の研究テーマに助成、助成金額は合せて1,800万円となった。研究助成の関連では、昨年9月にオンラインで開催された第60回日本呼吸器学会学術講演会で平成29年度を受賞テーマの成果が報告された。(成果報告並びに令和2年度の採択テーマは当財団HPに掲載しています)

また日本呼吸器学会との連携事業で計画した「呼吸不全に関する在宅ケア白書」作成の為に患者調査は未実施となり次年度への繰越しとなった。

その他事業運営費用を加えた事業費の合計は2,420万円となり、計画2,040万円に対して380万円の超過、予算執行率は118.6%となった。

(内容)

摘要	金額	備考
1.市民公開講座助成	60万円	「呼吸の日」、「肺の日」の市民講座 呼吸器学会東北支部の1件 「日本 COPD サミット」の市民講座 東京の1件
2.患者団体助成	40万円	ポリオの会、キャッスルマン病患者会 北海道低肺の会、再発性多発軟骨炎患者会の4件
3.研究助成	1,000万円	多施設共同研究テーマに対する助成を5件
4. COVID 研究助成	800万円	個人研究テーマに対する助成を4件
5.患者調査	0万円	未実施
6.事業運営費用	520万円	事業運営に関わる諸費用
事業費合計	2,420万円	